

## 身体拘束をしない支援

—多方面の取り組みから身体拘束ゼロへ—

社会福祉法人 富岳会 富岳一ノ瀬荘  
介護員 浅倉 麻貴子

## はじめに

介護を受ける人全ての人が人権を尊重され、人間としての尊厳を持ちながら安心してすごして頂くことが、私達介護員の目標だと考えています。身体拘束をしない支援を目指し、そこで当施設では、どのように身体拘束ゼロに向けて行っているのか当施設の取り組みを紹介したいと思います。

## 当施設での身体拘束の歴史と背景

富岳一ノ瀬荘は、施設設立から20年を迎えました。施設の認知症率も70%となります。そのような中でも、身体拘束ゼロを実現させ、実行しています。しかし、何も無かったのではなく、骨折事故・無断外出・ベッドからの転落・スピーチブロック等もありました。身体拘束を行わない代わりに、何かないかを10年ぐらい前から考え、取り組みを始めています。

## 身体拘束とは

身体を縛りつけて、身動きを出来なくすること。  
例)  
・徘徊しないように、車椅子や椅子に縛りつける。  
・ベットから降りれないように柵で囲む(4点柵)  
・ミトンの手袋をする。  
・行動を制限する為に薬を飲ませる。

身体拘束とは自由をなくすということなのです。

## 取り組みについて

1. 日中に音楽療法・芸術療法を取り入れ、行事への関わりを持たせます。
2. 考えられるリスクをケアプランに取り入れ入所者一人一人のリスクに対して職員に周知させます。
3. 転倒による骨折、徘徊や昼夜逆転等による問題行動をヒヤリハットとして挙げ、毎日朝夕のミーティングで話し合い情報を共有します。

## 音楽療法・芸術療法とは

音楽療法とは・・・  
洋太鼓を使い、職員の生の演奏と合せながら、利用者が演奏します。  
芸術療法とは・・・  
粘土をこね、陶芸作品や、絵画の作成をします。  
この活動を行うことにより、その人の状態や生活歴にあった刺激を与えることができます。心身や情緒安定を図り、また筋力低下の予防にもなります。



## リスクについて

	リスク	対応
骨折	移動・移動 圧迫	見守り 声掛け
転倒	歩行時のふらつき	歩行時の見守り 声掛け
排泄	移動時、移乗時の転倒	見守り
入浴	移動時、移乗時の転倒	移動時、移乗時の対応
	移動時、移乗時の転落	移動時、移乗時の対応
感染症	入浴時の濡れ	入浴中の見守り
	短期入所中の感染に注意 (風邪・ノロウイルス等)	手洗いの励行 感染者の面会の自粛 予防接種の実施

## ヒヤリハット事例について

・引継ぎノート・ヒヤリハット事例ノートを作成し、毎日の業務中で気がついた事、ヒヤリハットの事例を記入し職員全員で情報伝達を行っています。

例)

A氏→昨日の夜→車椅子に自分で →巡視を強化  
乗り居室から出てくる する。

## 結果として

このような取り組みをして、入所者の為にはなったがそれでも、スピーチブロック等の問題解決にはならなかった。

そこで、まだ出来ることがあるのではないか、何かないかと考え新しい取り組みを始めています。

それについて紹介します。

## 新しい取り組みについて

「認知症緩和ケア」  
「ハプティックセラピー (タクティール)」の導入

認知症緩和ケアとハプティックセラピーを導入したことで、職員の質までも向上しました。

## 認知症緩和ケアとは・・・

JSCIが提供する教育プログラムでは、25年以上前にスウェーデンの厚生省が提唱した「8つの理念」と英国由来の「緩和ケア」の考え方が取り入れられています。

教育プログラムでは、身体的・精神的・社会的・生存的という4つの視点から認知症の症状を捉え、患者のハイレベルなQOL(生活の質)を追求するべく開発されていることも大きな特徴のひとつです。

この教育プログラムの認定を受けた職員が当施設には4人おり、現在、職員の指導にあたっています。

## 認知症緩和ケアとは・・・

8つの理念とは

- 人格・尊厳の尊重
- 利用者の意見の反映
- 自己決定
- ニーズの総合的把握
- 活動能力の活性化
- 利用しやすさ
- 安全・安心
- ノーマライゼーション

## 認知症緩和ケアとは・・・

緩和ケアは、WHO(世界保健機関)で定められた緩和ケアの定義を基本にして提供されます。

緩和ケアの定義、

- ・痛みとその他の不快な症状から解放する。
- ・生命を重んじ、自然な過程の中での死を尊重する。
- ・死を早めることも遅らせることもしない。
- ・患者のこころのケアや霊的な(spiritual)側面のケアもあわせて行われる。
- ・死が訪れるまで患者が積極的に生きていけるよう支援する体制をとる。
- ・患者が苦しんでいる間も、患者と死別した後も、家族をサポートする体制をとる。
- ・必要に応じて、患者や家族に対して悲嘆へのカウンセリングを含めた様々なケアをチームで行う。
- ・生活の質(クオリティオブライフ:QOL)を向上させ、病を生きる過程に肯定的な影響を与える。
- ・化学療法や放射線療法など延命を目的とした治療と連携をとりながら病氣

### その人らしい・その人の立場になって…

その人らしい、その人の立場になってとはどういうことか  
(例)

入浴を拒否する人がいた。

↓

そのまま入れないのではなく、原因を考える。

↓

色々な方法を試してみる。

・着替えを一緒に取りに行く

・仲のよい方と一緒に誘う

### ハプティックセラピー（タクティール）とは

手、背中、足をオイルを使い両手で  
なでるようにマッサージする事

不安の軽減や、睡眠、血圧の安定、  
むくみの減少に繋がる。

### ハプティックセラピー（タクティール）の風景



活動や、食後等に行っています。

### 今後の課題

意識するだけでは、改善されなく「何ができるのか」  
「この人をどうしたい」「この人はどうありたいのか」  
「その為にはどう支援していくのか」という発想へも繋  
がります。

多方面からアプローチすることで身体拘束ゼロへ  
理想的な形に近づいていると思いますが、  
身体拘束ゼロとは、ずっと続いていく問題だと思  
います。まだまだ沢山のアプローチ方法があると  
考えています。